

(参考様式3)

会 議 録

会議の名称	第20期第2回東村山市立公民館運営審議会			
開催日時	平成30年12月17日 午後6:00～午後7:50			
開催場所	中央公民館 第3集会室			
出席者 及び欠席者	●出席者： (委員) 村上会長、佐藤副会長、岩松委員、栗原委員、下澤委員、 角町委員 (市事務局) 田中教育部次長、服部館長、鈴木館長補佐、町田萩山地区館長、 當間秋津地区館長、小山廻田地区館長、西出事業係長、澤本主事 ●欠席者：永吉委員、渡邊委員、川嶋富士見地区館長			
傍聴の可否	可	傍聴不可の場合はその理由	傍聴者数	0
会議次第	1. あいさつ 2. 審議事項 (1) 市民講座テーマについて (2) 検討課題について 3. 報告事項 (1) 平成30年度事業報告 (2) その他 4. その他 (1) 次回日程			
問い合わせ先	教育部公民館 担当者名 澤本 電話番号 042-395-7511 ファクス番号 042-395-7515			
会 議 経 過				
1. あいさつ ・開会に際し館長及び会長よりあいさつ 2. 審議事項 (1) 市民講座テーマについて 【事業係長】 平成31年度市民講座学習テーマ提案についてお手元の資料1に沿ってご説明させて				

いただきます。

資料1をご覧ください。11月1日で市民講座のテーマの募集が終了し、38テーマの応募がございました。

11月30日に講座ボランティアの方と会議をおこない、類似するテーマを統合し、30テーマまで絞らせていただきました。

市民講座につきましては、シニア学級を含む14講座を開催する予定ですが、そのうちの4講座については、地区館で活動されている団体を講師として講座を開催し、地域性やその後の活動の場としてご参加いただけるような取り組みとして、開催させていただきます。

委員の皆さまには、10講座選んでいただきますようお願いいたします。

【委員】

毎年おこなっている講座もあるのですか。

【事業係長】

そういった講座や以前に開催したことのある講座もございますが、今まで講座として開催していないものが大半です。

【委員】

講座のテーマは、講座ボランティアの方が中身と共に提案されているのですか。

【事業係長】

10月1日号の市報で市民の方にもご応募をお願いしており、市民の方からもご応募がございました。

【委員】

毎年ゼロから講座をやられているのですか。

【事業係長】

はい。

【委員】

以前に開催している講座については、講師の目処がついているのでしょうか。

【事業係長】

講座によっては、同じ講師をお願いしておりますし、そうでないものもございます。

(2) 検討課題について

【館長補佐】

公民館運営審議会が第20期となりました。今までの歴史もある程度整理しつつ、20期の課題を検討してまいりたいと思っております。

18,19期で利用の緩和を進めたことにより利用者の皆さまから大変好評を受け、利用者が増加傾向にあります。

何を考えていかなければいけないかという、自主事業、市民講座等の公民館事業、活動団体の現状、地区公民館の現状を整理しながらその中身を検討していただきたいと考えております。公民館の中でできることをもう少し充実させていきたいと考えて

おります。

その中での検討課題の1つ目として自主事業、市民講座等の公民館事業となります。

これは、市民の皆様の声に基づき過去の実績や経験を加えたもので、テーマを決定したのちに職員と市民講座ボランティアとで詳細を決めていくものでございます。

講座の開催曜日や時間等も含めどのように市民講座を作っていくかを考えていかなければいけないと考えております。

また、フレッシュコンサートのように大きく業務委託をしておこなっている事業もございます。また、自主公演事業も委託です。

職員数も限られていますので、事務量の削減のためにも講座ボランティアと協働・委任していく手法も検討していく必要があると考えております。実際、公民館を利用する団体の方から公民館と協働でおこなえる事業はないかといったお声もいただいております。

職員と市民ボランティアだけで進めているものをもう少し広げていければと思っております。

これらのことは、今までの審議会では審議の対象としてご提案しておりませんでした。20期においてはご審議いただければと考えております。

2つめの検討課題として、活動団体の現状がでございます。

現在、公民館5館を合わせますと約1,200団体の登録があります。登録団体というのは、「公共施設予約システム」に登録している団体の数です。

登録団体は、抽選予約をおこなえる団体であり、このほかに随時予約で申し込みをされる任意団体がございます。任意団体は、名簿等の提出をする必要はございません。

公民館としては、講座が基となり団体が設立されるということが続けておりますので、それを継続していきたい思いがあります。

また、高齢化や会員数の減少等のご相談を受けることも多くなってきております。団体の活性化等についてもご審議いただければと思います。

3つめは、地区公民館の現状です。

平成19年度に来館人数が減少しておりますが、全ての団体から使用料を徴収する、有料化とよく言われますが、このためです。

中央公民館はここ数年増加傾向にありますが、地区公民館は横ばいもしくは減少傾向にあります。各館の実情報告をしつつ今後のことについて検討していただければと考えております。

地区公民館のことと事業のことは繋がってくるのではないかと考えておりますが、地区公民館は職員数も少ないため何ができるのかも含め検討していきたいと思っておりますが、市民文化祭が全公民館で実施できるようになりましたし、利用者の皆さまと公民館の距離感が近づいてきたのではないかと感じております。

研修に参加しつつ近隣の情報を収集するようにしますので、その点も踏まえご審議していただければと考えております。

【教育部次長】

都市部と地方で公民館の役割は違うと思えますし、同じ市内でもエリアにより公民館の特徴もあるかと思えますので、固定の団体の方だけでなく新規の方が利用しやすくするというのも公民館の活性化の1つの方法になるかと思えます。委員の皆さまの率直なご意見、ご提案をいただければと思っております。

施設の再生という視点からすると、公民館の機能をどのようにしていくのかというご意見もいただければと思います。

市民文化祭を全館で開催し、特色、特徴が出ていてよかったといったお言葉を市長よりいただいております。

社会教育課が主管となる行事ではございますが、アンケートの中で地区の特色が出て良かったといったご意見もいただいておりますので、今後利用者懇談会等を通じて連携した取り組みが出来ればという話もでてくるかと思っております。

【委員】

どのような方が公民館の周辺にお住まいなのかといったような地域分布は把握できているのでしょうか。また、どのような層の方が公民館に申し込まれているのかということも把握しているのでしょうか。

【館長補佐】

今回の審議会で各地区館の現状をまとめたものをご用意いたします。

【委員】

利用人数の増減ではなく、地域の人口に対する利用率等の他市との比較といったものはないのでしょうか。

【館長補佐】

市によって公民館の位置づけも違いますので、比較が難しいところもございます。公民館の利用率については、事務報告で出しておりますので、データをそろえることはできます。

数にとらわれることなく団体がどのような活動をしているか、地区館ごとにどのような課題があるかということに重きを置きたいと思っております。

【会長】

数字ありきではないですが、資料を次回に用意していただければと思います。

【館長補佐】

用意させていただきます。

【委員】

自主公演事業となると職員の負担は減りますでしょうか。

【事業係長】

内容については委託先にお願いができるのですが、チケットの作成等はおこないますので大幅に事務量が減るということはありません。

【委員】

いい方法で負担が減らせる持ち込みイベントを増やすことができれば、来館者数等を増加させるための検討の時間に使えればと思います。

【委員】

萩山公民館をよく利用するのですが、萩山町は高齢化が進んでおり、骨密度の測定

等をおこなう際には公民館あふれるほどの人気があります。

地域特性に合ったテーマにすると利用率が伸びるのではないかと考えます。

また、「住むまちを知る」が萩山町をテーマとしてやられていたかと思いますが、関心のあるようなテーマを取り上げることによって利用が増えるのではないのでしょうか。ただ、まち歩きをする際に職員が交通整理に追われていたのが気の毒に感じました。運営のあり方についても検討いただければと思います。

【委員】

職員の方が市民のために日々努力されているのだなと感じました。時代の流れがある中、これだけの来館人数があるのは、努力の賜物かなと感じます。

先日、中央公民館に1日いることがあったのですが、本当に様々な方が利用されているのだなと感じました。

【委員】

地区館のことよりも人口の推移があるのか等、その地域のことをどのくらい把握しているのかを知りたいという気持ちがあります。

職員の皆さまは研修に参加されているのでしょうか。他市の仕事の方法を知る等情報を収集することが有効かと感じます。

委員の知恵だけでは限界があるかと思しますので、研修で事例等の報告を聞くことも大事かと思えます。

【副会長】

フレッシュコンサートを見に来たのですが、とてもよかったです。

こういった事業を継続し、催していただければと思います。

【会長】

具体的にどのような事業ならボランティアや委員を交えながら催せるのか等について、データ等を踏まえながら、意見交換をしていきたいと思えます。

【委員】

登録団体の数ですが、全体で約1,200団体ありますが、重複しているものもあるのでしょうか。

【館長補佐】

登録団体は、抽選予約で申し込みをする1つの公民館を登録することになりますので、各公民館での登録となります。

ただし、富士見公民館の団体は、工事の関係で抽選館を1つ増やしておりますので、重複しているところも出てきております。

【委員】

団体が一堂に会しての説明会等はあるのでしょうか。

【館長補佐】

毎年1度、利用者懇談会を各公民館で開催しております。すべての団体が出席されるわけではございませんが、悩みを持った団体の方は懇談会にいらっしゃいます。

【委員】

質の高い学習の場を提供するとありますが、事業費は平成30年度の予算額はどの程度なのでしょうか。

【館長補佐】

施設に係る経費は別になりますが、事業費は、例年約400万円弱でございます。

【事業係長】

自主事業やフレッシュコンサートの委託料も含めて400万円弱でございます。

【委員】

登録団体の方がお金を取ってやることは可能なのでしょうか。

【館長補佐】

講師の方へのお支払分等については、団体で会費を集めてお支払することはあります。

3. 報告事項

(1) 平成30年度事業報告

平成30年度事業報告をお手元の資料3に沿って報告させていただきます。

各講座等の開催日、対象者、定員、応募数、受講数等につきましては資料のとおりとなります。

市民講座「筆ペンをきれいに使う」を廻田公民館で開催をいたしました。受講者の平均年齢は65.8歳、男性3名、女性21名でした。

手書きの良さをもう一度見直し、筆ペンの基礎を学ぶことを目的とし、開催いたしました。筆ペンの持ち方から楷書・行書でカタカナ・ひらがな・漢数字・自分の氏名、住所等を学びました。最終回は、年賀状の基本練習・年頭のあいさつに使われる言葉の意味を学び、各定型文のバランスを学びました。1回から3回は、講師、アシスタントによる個別添削・指導がおこなわれ、受講者も積極的に取り組んでいました。

講師からは、「最近、手紙やはがきなど手書きをすることが少なくなったので、今回の講座をきっかけとして自分で字を書く良さを見直して、続けてほしい。」とのお話があり、アンケートでは「すばらしく、中身のこい講座でした。季節毎のあいさつ状の書き方を教えてほしいと思いました。」「少し進み方が速かったけれど1つ1つ丁寧に教えて頂き、改めて、きれいな字は、素晴らしいと思いました。」等、大変好評でした。

続きまして、市民講座「世界のそこを知りたいパート2」を中央公民館で開催をいたしました。受講者の平均年齢は74歳、男性18名、女性6名でした。

第1日目、アメリカに独裁者が生まれる日、アメリカ中間選挙後のタイムリーな開催となりました。アメリカの歴史的背景から現トランプ政権までの社会的・経済的状況を織り交ぜながら、アメリカがどうしてこのような状況になってしまったか等、大国アメリカの課題を分かりやすく学びました。第2日目、EUと英国の選択、なぜ英国の判断が離脱だったのかを欧州の歴史的背景、EU加盟国の経済状況・社会状況から学習し、米国の保護貿易、世界的ポピュリズム台頭等の理由から今後の英国の難しい判断を分かりやすく学びました。第3日目、中国大陸で何が起きているのか、一帯一路構想等で経済的、政治的リーダーシップを目指す中国の事実を、貿易収支、貿易品目等によって解説し、ニュース、事象から何を読み取ればいいのかを学習しまし

た。

続きまして芸術、伝統文化などに親しみ参加できる機会を提供する自主公演事業として、カンジヤマ・マイム「おしゃべりなパントマイム」を開催いたしました。

チケット販売状況は全席指定とし、販売枚数は 453 枚、当日は、439 名の来場となりました。

前半は大人向け、後半は子ども向けの内容となり、当日の来場者の客層を考慮した演目となりました。大人向けに、坂本九氏や永六輔氏の話、子ども向けに NHK の「お母さんといっしょ」の話題など、子どもから大人まで楽しめる内容となり、また、大人 1 名お子さん 2 名を出演者が舞台上げるといったこともありました。

アンケートでは「想像の世界に、一瞬にして引き込まれる素晴らしい身体表現でした。笑いあり、涙あり、とても楽しかったです。有難うございました。」「はじめてちゃんとしたパントマイムを見ました。表現がすばらしいなと思いました。また見たいです。」等大変好評でした。

終演後、出演者がホール出口のホワイエにてワークショップを開催し、たくさんのお子さんが参加され、来場者には大変好評でした。

続きまして知的障害者青年学級、かめのご学級についてになります。

11 月 25 日に料理教室で豚丼をつくり、12 月 9 日にお楽しみ会をおこないました。

過去の料理教室では、あらかじめ学級生の役割を決め、得意な役割だけをおこなっておりましたが、今回は全員が包丁で食材を切る体験をいたしました。炊飯の待ち時間には、次回開催の「お楽しみ会」学級生役割、受付、始まりの言葉、終わりの言葉、を学級生が発案したり、後片付けで自主的に床のモップ掛けをしたり、積極的に活動する意気込みを感じることができました。

お楽しみ会では、「音楽のたまてばこ」によるハープ・バイオリンのアンサンブルを心行くまで堪能し、また、普段触れる機会が少ない、ハープやバイオリンに直に触れながら音楽を奏でる貴重な体験をいたしました。

次回開催事業につきましては、お配りいたしました一覧のとおりとなります。以上となります。

(2) その他

【廻田地区館長】

平成 31 年 2 月 18 日（月）午前 10 時から正午までの短い時間ですが、第 2 回廻田公民館利用者懇談会をおこないます。

内容としましては、社会教育課の職員を交えて廻田文化祭の開催について、各サークルの活動状況、サークル同士の意見交換をおこなう予定です。

前回は、施設再生推進課、（現：資産マネジメント課）を呼んだのですが、今回は、このような形でおこなうこととなりましたので、よろしく願いいたします。

【公民館長】

その他に中央公民館、萩山公民館でも利用者懇談会を予定しておりますので、次回の審議会の際にご案内させていただきます。

【会長】

地区館のことについて何か一言いただければと思います。

【秋津地区館長】

市民文化祭なのですが、職員の特技を生かした文化祭となりました。
高齢者の方の問題なのですが、開館当時から 30 年続いたコーラスの団体が文化祭の発表をもって解散されました。

また、新たな団体も生まれています。

人数の減少ということですが、高齢化はしておりますが、印象としては減っているとは感じておりません。

【萩山地区館長】

ホールがないので 70 名程度の集会室での開催ですが、文化祭でコンサート等の発表もおこないました。

コンサートは、今年からの取組でしたので、参加団体 4 団体と少なかったのですが、増やしていきたいと思っております。

また、萩山町近隣の方を対象に手打ちうどんの体験教室をおこないました。大変好評でしたので、来年度についても何か催したいと考えております。

萩山公民館としての課題は、設備の老朽化がございますので、今後改善していきたいと思っております。

【会長】

ありがとうございます。

4. その他

(1) 次回日程

【会長】

今回は、平成 31 年 2 月 18 日（月）午後 6 時より中央公民館の第 3 集会室にて開催いたします。